

會員よりのたより

紀伊、伊都中學天文部だより

拜啓 貴會の益々發展されんとするを勢、熱、意氣、誠に大慶に存じ上げます。尙此の程は非常に御鄭重なる御祝詞を頂きまして御禮の言葉も御座いません。此の上は何とかして御恩に報じようと思つて、本校天文部に全心を傾けて居ります。部員は現在全部で138人も大多數で、如何に導いて行かうかと悩んで居ります。五年生の主だつたものにも意見を聞き、自分の考へも交へてやる積りです。四月19日第一回觀天會を催しました。

四月19日(土) 19時～21時快晴 一、二年生の會員

19時集合、望遠鏡(残念ながら一臺しかありません—7糎屈折)を持ち出し、もはや地平線上なる木星を入れる。之が落ちてよりはOrion大星霧に目標を置く。時間の都合ありて汽車の者は次々に歸り行くが尙半分以上残る。それより乙女座流星群の話をして全部のもの之を觀測すれども散會まで唯の四個しか見えず。一年30名、二年43名、三年以上9名なる大盛會なり。希望に燃え好奇の瞳を輝かしながら歸る姿を見せつけられ、獨り心ゆくばかり微笑むことを得たり。

×

×

×

就任後は少からず忙しく困りましたが今はもう大した事なく良い職に就いたと秘かに喜んで居る次第でございます。先づは御禮旁々近況お知らせまで。

敬具

四月24日

伊中天文部 木村直樹

東亞天文協會御中

(備考) 會員木村直樹氏は新聞紙上で報ぜられた如く、昨年和歌山中學校を卒業、和歌山縣廳衛生課に勤務の傍ら勉學一年で數學の文檢を取り、本年四月より上記伊都中學校に勤務された日本一の若い中等教員である。

野尻氏より

氣候不順であります。御障りも無い事と存じます。そろそろ皆既日食の御用意と思ひます。多忙で、又参れさうもありません。さて、小生永く持つて居りました蠻書調所の“星名考”(安政?川路聖謨の所藏なりし寫本)は、當時の洋名を支那名と比較して、カナ書きにしましたもの約二百の表であります。調べ直してみましたら、固有名も相當にあり、多少ノートを添へますと面白さうに思はれます。(恐らく此の種のまとまつたものは天文臺にも無いのではないでせうか。在來お見かけのものありませうか、お教へ願ひます。)“天界”に二回位にわたり發表してみたく思ひます。不一

野尻抱影

東亞天文協會大阪支部規約

第1條 本支部ハ東亞天文協會大阪支部ト言ヒ本部ノ主旨ニ準ジ其ノ事業ヲ助ケ以ツテ本部事業ノ強化ヲ計ルノガ目的デアル。

第2條 本支部ハ次ノ事業ヲ行フ

例 會
講 演 會
見 學 會 其 他

第3條 本支部ニ會長指名ノ役員ヲ置ク

支 部 長 壹 名
幹 事 若 干 名

第4條 本支部ノ事業及組織ハ全テ會長ノ承認ヲ要スル

第5條 本支部規約ハ會長及本支部役員ノ決議ニヨリ變更スル事ガ出來ル

以 上

編輯室だより

ペティト博士はキルソン山で精密な熱電對を大反射鏡に仕掛けて天體の溫度を測定した人です。體格の偉大な、マルで我が國の双葉山みたいな感じのする人ですが、この人が針の先ほどの微細な器械を扱つてゐる圖を想像しながら“月世界の溫度”を読んで下さい。▲Physical Review といふ雑誌は米國物理學會の機關誌で、純粹な天文家にはトカク見逃され易い雑誌ですが、近年此の中に天文學の論文が頻繁に現はれ、中々油斷のならぬことがあります。本號に一寸挿入した文にも此の片鱗がうかがはれませう▲編輯部の一人は七月末以來、研究のため、北海道と樺太とへ旅行中で、其のために、校正其の他に一寸手が不足し、テンテコ舞ひですが、ともかく月末までには校了となりさうです。いよいよ日蝕となり、又、火星や木星もやつて來て、學界も緊迫して來ました。彗星も日没後の西天と南天とに一つづつ見えて、空を賑はしてゐますが、どうしたとか、春以來の惡天氣が尙續いて、充分な觀測が行はれにくく、齒がゆい思ひです。▲世界戰亂の折から、案外、歐洲方面からの通信が届きます。獨ソ戰の始まる前までは獨國からの通信は圓滑でしたが、只今は杜絶へました。しかし、コペンハーゲンあたりからの電報も回報もマヅ無難にやつて來ます。(多少遅延しますが)どこを、どう通つて來るのか知りませんが、不思議なことです。▲第299頁の訂正は恐縮々々。